

令和 6 年度学校法人彩煌学園 事業報告書

学校法人彩煌学園

令和 6 年度学校法人彩煌学園

事業報告書

【概 要】

令和 6 年度の本学園の事業活動は、コロナ過後の変革する社会体制や急速に変化し対応が多岐にわたるアプローチが求められる若者層の受入れ等、また必要不可欠な活動においての物価高を背景にした経費の増大に対する対応など、例年以上に苦慮する場面が多い年となったが、これを次世代の人材育成を醸成する契機ととらえ、デジタル化や国際コミュニケーション、学生個別ケアの実施など教職員一丸となって取り組んだ。また、国家資格取得事業及び就職支援事業においても取り組み方について大幅な変更を行い、例年以上の成果を残すことが出来た。

以下、令和 6 年度事業を列記する。

①教育事業全体

湘南医療福祉専門学校全体としては入学式、卒業式及びレクリエーション大会は開催できたが、秋ごろより感染が拡大したコロナウイルスによりここ数年同様に鳳翔祭は開催が出来なかった。卒業式後に開催される卒業パーティーについては開催が出来た。

入学式 令和 6 年 4 月 5 日 戸塚区民文化センターホール

鳳翔祭 令和 6 年 11 月 3 日

卒業式 令和 7 年 3 月 18 日 神奈川県民ホール

(卒業パーティー 横浜ローズホテル)

代表者会議 毎月第一月曜日

②東洋療法科事業

令和 6 年度について、講義・実技・臨床実習については対面にて、規定通り実施することが出来た。

国家試験対策事業については、理事長による陣頭指揮の下、令和 5 年度より行った試みを継続し、現役受験生のあん摩マッサージ指圧師国家試験については全員合格、はり師・きゅう師国家試験については 1 名を除く合格を達成できた。

③介護福祉科事業

令和 6 年度について、令和 5 年と同様講義・実技授業については対面にて、規定通り実施することが出来た。

施設実習についてはコロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドラインの制定や感染状況により実習施設の変更や延期等も発生したがおおむね当初の予定通りに行うことが出来た。

就職に関しては、就職希望者全員の就職を実現した。

国家試験については、特別の対策授業なども臨時に実施するなど、積極的なアプローチにより 95%の合格率を達成することが出来、留学生においては受験者全員合格することが出来た。

④救急救命科事業

講義、シミュレーション実習等実技授業は対面授業とした。

臨地実習についても受入各機関のご配慮により当初の予定通り行うことが出来た。

国家試験対策事業については、95%の国家資格全員取得を実現することが出来た。

就職については卒業予定者全員が各地区の消防局、陸海空の自衛隊、医療機関などに入職することが出来た。

⑤キャリア支援センター活動状況

(1) 広報活動について

高校訪問、校内で行うオープンキャンパス・個別見学・夜の学校見学会の他に、高校内進路ガイダンスなどで本校の魅力を十分にPRすることが出来た。

パシフィコ横浜で開催の進路フェスタ・マイナビフェスタ等会場型進路相談会はコロナウイルス感染拡大を徹底した上での実施となりコロナ過以前の参加者にはまだ復調していなかったが当校の相談ブースは高校生で盛況だった。

神奈川県・神奈川県教育委員会・(一社)神奈川県専修学校各種学校協会との共催事業である「仕事のまなび場」事業及び「小学生のチャレンジスクール」事業も感染拡大防止を徹底して開催された。

留学生募集活動については令和6年4月に中国・山東省、9月にインドネシア・ジャカルタ、10月に中国吉林省、11月ミャンマー・ヤンゴンミに赴き、現地留学生送り出し機関への説明、留学希望者への学校説明会なども開催することが出来、本邦への留学についてプロモーションや意欲の高い学生の獲得を行うことが出来た。

(2) 就職支援事業について

各科での就職に関する講義、就職先機関をお招きしての就職ガイダンス、模擬面接、履歴書作成指導などを行い、著しい成果を上げることが出来た。

⑥附属臨床施術所事業

年間を通じコロナウイルス感染による影響もあったが、コロナ過前に近い患者様の来院数に復調した。

⑦経済的困窮学生への就学支援事業

令和 6 年度も奨学金等については奨学金担当者の努力もありコロナ過により生活が困窮した学生のニーズに対しいち早く対応し、困窮学生への行政支援策の案内早期告知、学生校納金の分割納入などの施策を実施し経済的に困窮した学生を支援した。

⑧留学生受入事業

令和 5 年度同様に神奈川県・横浜市等行政機関の他に各種連携支援機関と共に生活指導などを強化して実施した。

在留資格期間更新については恙なく無事に更新が出来た。

日本語担当教師より日本語授業にも注力した。

⑨渉外活動について

令和 6 年度も神奈川県専修学校各種学校協会副会長校として渉外委員会専門学校委員会キャリアスタディ委員会を通じた専修学校振興活動事業、神奈川県専修学校各種学校協会横浜支部長校として横浜市内専修学校振興活動事業、横浜市福祉事業経営者会理事校として横浜市内福祉教育振興事業、神奈川県商業教育振興会専門学校部会での商業高校生への支援事業、その他神奈川県職業教育振興会、横浜開港祭協議会等を通しての他業種との連携事業等を行い、本学園設置学科に関係した業界の振興、専修学校の振興等に関係団体でリーダーシップを発揮し、その知名度の増大にも大いに寄与した。

⑩コロナウイルス感染拡大防止対策事業

令和 6 年度もコロナウイルス感染再拡大の懸念から、引き続き隔離用教室を準備し、常時使用できるよう待機させ、湘南医療福祉専門学校の教育活動をサポートした。

⑪在校生カウンセリング体制の整備

専属カウンセラーによる相談体制の整備を行った。

以上